

令和 7 年度

刈谷市教育委員会点検・評価報告書

(令和 6 年度事業対象)

刈谷市教育委員会

目 次

I	点検・評価の概要	P 1
II	教育委員会の活動状況	P 4
III	総合計画に基づく施策の評価	P 9
IV	点検・評価の結果	P27
V	参考資料	P29

I 点検・評価の概要

1 趣旨

平成20年4月1日に施行されました「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図って点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされました。

本市の教育委員会においても、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の会議や教育委員会委員の活動を始め、第8次刈谷市総合計画に基づき、教育委員会事務局が実施した事務事業について点検・評価を行いました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の実施方法

第8次刈谷市総合計画に掲げる将来都市像「人が輝く 安心快適な産業文化都市」の実現に向けて推進する4つの基本方針のうち、「教育文化 生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり」に位置付けられた4つの基本施策の具体的な施策の内容を構成する事業について事務事業評価シートにより、点検及び評価を行いました。

刈谷市教育委員会事務点検・評価では、教育委員会が行った事務事業評価から選定した事業の結果について、学識経験者（外部評価委員）から意見をいただきました。

外部評価委員

愛知教育大学 学長 ^のだ ^{あつ}のり
野田 敦敬 氏

○総合計画に基づく施策

基本方針	
教育文化 生涯にわたって学び地域への愛着を育むまちづくり	
基本施策	施策の内容
1 学校教育	1 1 教育内容の充実 1 2 児童生徒へのきめ細かな対応 1 3 児童生徒の健やかな身体づくり 1 4 学校施設・設備の整備・充実 1 5 安心安全で地域に開かれた学校づくり
2 生涯学習・青少年育成	2 1 学習機会の充実 2 2 学習活動の支援 2 3 青少年の健全育成
3 スポーツ	3 1 スポーツ活動プログラムの充実 3 2 クラブ・団体の育成 3 3 施設の整備・充実・開放 3 4 ささえる人材の育成 3 5 スポーツを通じたまちづくり
4 歴史・文化・観光交流	4 1 文化芸術による魅力づくり 4 2 文化財の保護・伝承 4 3 歴史文化の普及・啓発・活用 4 4 観光交流の推進

【今年度の評価項目】

評価対象事務事業		担当課
(基本施策) 2 (施策の内容) 2 1	生涯学習・青少年育成 学習機会の充実 ・貸出閲覧管理事業 ・図書等購入事業	生涯学習課
(基本施策) 3 (施策の内容) 3 2	スポーツ クラブ・団体の育成 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ課

3 外部評価の視点、委員に求める意見・提案

外部評価の視点

【現状の分析と課題の考え方】

- ・市の担当課が実施した事務事業の評価結果は妥当か
- ・指標の的確性、指標分析の考え方はどうか

【今後の方向性】

- ・評価結果からの的確な課題への対策となっているか
- ・施策の推進に効果的か

意見・提案

- ・左記の視点での考え方や妥当性等に関する意見
- ・既存事業の改善提案や新規事業・施策の提案

【総 評】

- ・事業全体に関する意見

Ⅱ 教育委員会の活動状況

教育委員会は、都道府県や市町村等に置かれる行政委員会の一つで、合議制の執行機関です。教育長と委員の合議により基本的方針を決定し、その方針・決定をもとに教育長が事務局を指揮監督し、教育行政を執行しています。

1 教育委員会の構成（令和7年10月1日現在）

職名	氏名	任期	期数
教育長	佐野吉則	(令和7年10月1日就任) 令和10年9月30日	1
教育長職務代理者	鶴田英孝	(令和4年10月1日就任) 令和8年9月30日	2
委員	浅井優	(令和5年10月1日就任) 令和9年9月30日	2
委員	小川耕示	(令和6年10月1日就任) 令和10年9月30日	2
委員	深澤由記子	(令和7年10月1日就任) 令和11年9月30日	1

2 教育委員会会議の開催状況

令和6年度における教育委員会の会議は、毎月1回の定例会を開催し、44件の議案について審議を行いました。教育委員会会議は、原則公開としており、会議録はホームページ等で開示しています。

会議で審議された議案は、以下のとおりです。

開催日	議題
4月 定例会	<ul style="list-style-type: none">○刈谷市図書館条例施行規則の一部改正○専決処分（刈谷市いじめ問題対策委員会委員の委嘱）○専決処分（刈谷市学校給食センター運営委員会委員の委嘱）○専決処分（学区外就学）○専決処分（刈谷市公民館長の解職及び任命）○専決処分（刈谷市社会教育委員の委嘱）○専決処分（刈谷市図書館協議会委員の解職及び任命）○専決処分（刈谷市スポーツ推進審議会委員の任命）○専決処分（刈谷市スポーツ推進委員の委嘱）○令和6年4月刈谷市議会臨時会提出議案（工事請負契約の締結）に関する意見○専決処分（刈谷市文化財保護審議会委員の委嘱）○専決処分（刈谷市歴史博物館協議会委員の委嘱）

開催日	議 題
5月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年6月刈谷市議会定例会提出議案（令和6年度刈谷市教育費6月補正予算、工事請負契約の締結）に関する意見の聴取 ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
6月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○専決処分（刈谷市学校給食センター運営委員会委員の委嘱） ○専決処分（学区外就学）
7月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年8月刈谷市議会臨時会提出議案（物品の買入れ）に関する意見の聴取 ○専決処分（学区外就学）
8月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年9月刈谷市議会定例会提出議案（令和6年度刈谷市教育費9月補正予算、教育委員会委員の選任、工事請負契約の締結、指定管理者の指定、条例の一部改正）に関する意見の聴取 ○学区外就学 ○専決処分（学区外就学）
9月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の学校給食における飲用牛乳の選択制に関する請願 ○学区外就学
10月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和7年度教職員定期人事異動方針 ○学区外就学 ○刈谷市体育施設条例施行規則の一部改正 ○専決処分（学区外就学）
11月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年12月刈谷市議会定例会提出議案（令和6年度刈谷市教育費12月補正予算、工事請負契約の変更、指定管理者の指定）に関する意見の聴取 ○学区外就学
12月 定例会	<ul style="list-style-type: none"> ○学区外就学 ○社会教育委員の委嘱 ○専決処分（学区外就学）

開催日	議 題
1月 定例会	○専決処分（刈谷市歴史博物館協議会委員の委嘱）
2月 定例会	○令和7年3月刈谷市議会定例会提出議案（令和6年度刈谷市教育費3月補正予算、令和7年度刈谷市教育費当初予算、条例の一部改正、工事請負契約の額を変更する専決処分）に関する意見の聴取 ○刈谷市教育委員会事務局処務規則の一部改正 ○令和7年度刈谷市の教育一般方針 ○刈谷市青少年センター規則の廃止 ○刈谷市立小中学校体育施設のスポーツ開放に関する規則の一部改正 ○専決処分（学区外就学）
3月 定例会	○令和7年3月刈谷市議会定例会提出議案（令和6年度刈谷市教育費3月補正予算（第8号））に関する意見の聴取 ○令和6年度刈谷市教育委員会点検・評価報告書 ○刈谷市図書館条例施行規則の一部改正 ○専決処分（学区外就学）

上記議題の他、各課定例報告（学校給食献立、児童生徒数、各種行事予定、施設利用状況）、市議会及び市民文教委員会の教育に関わる質問事項について報告を適時行い、各委員の立場や考えにより、積極的に意見交換を行っています。

3 その他の委員活動

項 目	内 容
総合 教育会議	<p>●総合教育会議（1月） 意見交換テーマ『教育大綱に求めること』</p> <p>■内 容 令和7年度の教育大綱の見直しに向け、各種施策の実施状況の説明と、教育大綱に求めるものなどの意見交換を実施。</p>

項 目	内 容
研究 発表会	<p>■ 刈谷東中学校（10/9） 研究主題『未知なる事象に挑み、見方・考え方を磨く生徒の育成～教科学習における二段階発問を通して～』</p> <p>■ 小垣江小学校（10/30） 研究主題『自ら学び、学びを生かそうとする子の育成～単元を貫く目的意識から生まれる課題解決の実践を通して～』</p> <p>■ 朝日小学校（11/15） 研究主題『自ら学びを追究する子どもの育成～ふり返りで学びを見つめ直す活動を通して～』</p>
学校訪問	<p>■ 目 的 学校の実態を把握するとともに、学校教育推進上の問題点について指導・助言し、現職教育の推進と充実を図る</p> <p>■ 訪問者 教育長、教育委員、教育部長、学校教育課長、指導主事等</p> <p>■ 内 容 公開授業及び諸帳簿の点検</p> <p>■ 着眼点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の心に寄り添う指導の展開状況 ・ 教職員の健康管理に向けた取組の状況 ・ 創意ある学校づくり及び教員の資質向上への取組の状況 ・ 児童生徒の自己肯定感と自己有用感を育む取組の状況 ・ 基礎的・基本的な事項の定着とそれらを活用する力を高める指導の工夫の状況 <p>■ 実施校（研究発表校を除く学校） 日高小(5/13)、亀城小(5/20)、平成小(6/24)、富士松中(7/1)、衣浦小(7/8)、依佐美中(7/11)、刈谷南中(9/20)、富士松南小(9/30)、住吉小(10/7)、富士松北小(10/10)、東刈谷小(10/16)、雁が音中(10/23)、かりがね小(10/24)、朝日中(10/28)、小垣江東小(11/1)、刈谷特別支援学校(11/6)、双葉小(11/11)、富士松東小(11/14)、小高原小(11/19)</p>

項 目	内 容
研修視察	<p>目的 教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員会の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る</p> <p>研修先 ウィングアリーナ刈谷（4/10）</p> <p>研修内容 令和8年度に開催予定のアジア・アジアパラ競技大会の参考として、ウィングアリーナ刈谷の視察とホームタウンパートナーチームのゲームを観戦</p>
式 典	小学校卒業式、中学校卒業式
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●西三河地方教育事務協議会（4月、5月、11月、2月） ●愛知県市町村教育委員会連合会（7月） ●刈谷市奨学会（4月、10月、1月、3月） ●刈谷市PTA連絡協議会（5月、12月） ●刈谷市教育研究会（4月） ●刈谷市総合式典（5月） ●二十歳の集い（1月）等

Ⅲ 総合計画に基づく施策の評価

【評価項目】

評価対象	担当課
(基本施策) 生涯学習・青少年育成 (施策の内容) 学習機会の充実 ・貸出閲覧管理事業 ・図書等購入事業	生涯学習課
(基本施策) スポーツ (施策の内容) クラブ・団体の育成 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業	スポーツ課

2-2

生涯学習・
青少年育成

めざす姿

- 市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学習し、充実した心豊かな生活を送っています。
- 青少年が思いやりの心を持って健やかに成長し、社会的な自立を果たせるようになっています。

主な関連
ゴール

指標	現状値	目標値(めざす方向) 2032年
生涯学習を行っている市民の割合	39.5% (2022年)	50.0%
青少年が参加する体験・交流活動参加延べ人数	18,855人 (2021年)	26,000人

施策の背景

📍 現状

ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、学習ニーズが多様化する中で、各種講座の受講者は固定化傾向にあり、生涯学習を行っている市民の割合は伸び悩んでいます。

図書館の入館者数が減少しています。また、若者の読書離れが問題視されています。

生涯学習施設は充足しており、全体としての稼働率の高いものの、一部の部屋の利用率が低くなっています。

スマートフォンやタブレット利用者が低年齢化しています。

社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者が増加しています。



▶ 動画で解説

✍️ 課題

➔ 多様化するニーズを的確に捉え、幅広い世代を対象とした学習機会の提供が望まれます。

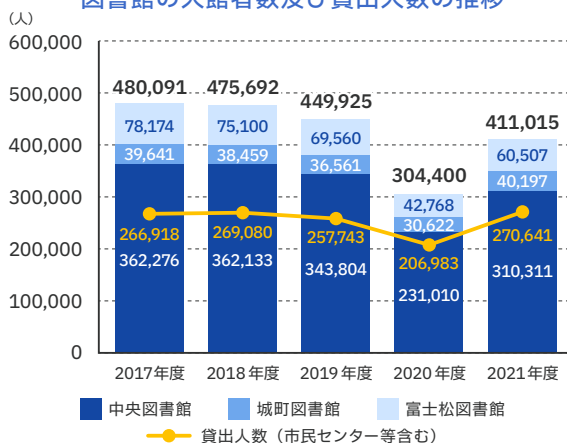
➔ それぞれの年齢層に合った読書に親しみやすい環境づくりが望まれます。

➔ 施設の利用自体を知らない市民が一定数いるため、各施設の利用促進の向上が必要です。

➔ ネット依存などの新たな課題が生じており、青少年を健全に育成できる環境づくりが求められています。

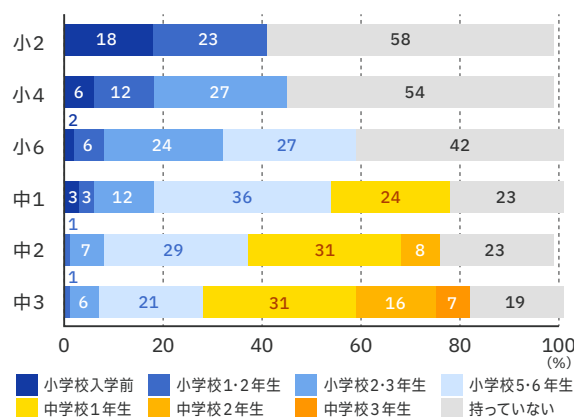
➔ 青少年とその関係者が気軽に相談のできる体制づくりが求められています。

図書館の入館者数及び貸出人数の推移



資料：刈谷市

自分専用のスマホ等を持った時期



資料：刈谷市児童生徒愛護会実態調査(2021年9月実施)

※端数処理のため、合計が100%にならない

施策の内容

221 学習機会の充実

- ①時代の潮流を踏まえ、多様化する趣向と学習ニーズを的確に捉えた講座などを企画し、興味や必要に応じた学習の機会を提供します。
- ②大学などの高等教育機関や事業者と連携した専門講座を開催するなど、高度な学習の機会を創出します。
- ③図書館、学校等が連携して子どもや若者の読書活動を推進するとともに、誰もが読書を身近に感じられる仕組みづくりを進めます。

222 学習活動の支援

- ①市民が自ら学習した知識をいかして、講師となる機会を充実させます。また、ボランティアグループによる講座の企画支援などを通じて、ネットワーク化を促進します。
- ②グループやサークルによる市民の自主的な活動や地域の公民館活動の活性化を支援し、学習成果の発表の場の充実に努めます。
- ③広報紙やホームページに加え、ポータルアプリや SNS などのあらゆる媒体を積極的に活用し、講座情報や学習施設の情報を効果的に発信します。
- ④多くの学習施設により、充実した活動環境を提供し、市民の学習活動や余暇活動を支援します。また、デジタル化に対応した設備を整えるなど適切な管理改修により、常に安全で快適な施設を維持します。

223 青少年の 健全育成

- ①青少年育成の基本となる家庭の役割や家庭教育の重要性について啓発するとともに、家庭、学校、地域が連携し、社会全体で青少年が健やかで自立できる環境づくりを推進します。
- ②青少年が地域の中で、多様な体験や学習機会、交流活動の場を通して、協調性や社会性を育み、健やかな成長ができるよう支援します。
- ③様々な困難を抱える子ども・若者に寄り添い、一人ひとりの状況に応じた支援が行われる体制づくりを推進します。



連携・協働の考え方

- より魅力的で充実した生涯学習環境を創出するため、市民や事業者、各種団体などと協働して、生涯学習活動に取り組みます。
- 幅広い地域住民や事業者、各種団体などとともに家庭や学校と連携して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えます。

関連する個別計画

- 第3次生涯学習推進計画
(2015年度～2024年度)

貸出閲覧管理事業・図書等購入事業

【目的】

図書館の所蔵資料を充実させ、図書の貸出、返却及び閲覧事務の管理を行い、市民の教養、調査研究及び余暇等に対し資料を提供する。

【主な内容】

- (1) 図書の貸出、返却及び閲覧事務の管理
- (2) 一般書、児童書、視聴覚資料、外国図書、雑誌、新聞等の購入
- (3) 書誌データや図書の装備・修理に必要な用品の購入
- (4) 幼稚園、保育園及び学校へ団体貸出する図書の運搬

【実績】

(1) 電子図書館

稼働 令和5年12月
対象 刈谷市在住者
貸出点数 3点(2週間貸出)
推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
貸出冊数	1,252,933	1,301,727	1,304,645
うち団体貸出	57,353	51,204	52,259
うち電子書籍		6,257	53,667
貸出人数	270,265	281,490	283,171
うち電子書籍		3,847	31,216

拡大策

①学校連携

開始 令和6年9月
対象 刈谷市内の小中学生及び刈谷特別支援学校の児童生徒
(令和7年4月から刈谷高等学校附属中学校を追加)
利用方法 タブレットからアクセス
朝の読書時間、調べ学習のツールの1つとして利用

②電子図書館使い方講座

実施日 令和6年12月15日(日)
参加人数 28名



刈谷市電子図書館の画面

(2) アクセシブルライブラリー

稼働 令和6年4月
 対象 刈谷市在住で視覚障害の身体障害者手帳を持っている方(等級不問)
 登録者数 24名(令和7年3月31日現在)
 利用方法 専用カードのQRコードを読み取りアクセス
 アクセス数 436件(令和6年度)



アクセシブルライブラリー利用者IDカード

(3) 村上文庫等古典籍のWeb化

稼働 令和6年3月
 閲覧数 4,463件(令和6年度)

※古典籍データベース：刈谷市中央図書館が所蔵する村上文庫・浅井文庫・小山文庫・亀城文庫・図書館文庫の古典籍のウェブ検索及び閲覧。村上文庫等2万7,344冊の画像データ134万件超が収録されている。



古典籍データベース

村上文庫『浜のきさご』（はまのきさご）

村上文庫「魯齊亜」（ろしあ）

【その他実績】

- (1) 対面サービスの回避や混雑の解消のため、セルフ貸出機を中央図書館に設置
- (2) 貸出券のスマートフォンへのバーコード表示を開始
- (3) 刈谷駅北地区地域交流施設（カリココ）での予約した本の受取、及び返却ポストを設置
- (4) 児童コーナーにバリアフリーコーナーを新設



(1)セルフ貸出機



(2) カリココ 返却ポスト

【成果】

- (1) 図書の貸出、返却及び閲覧等の業務が適切に管理され、快適な読書環境の充実が図られている。
- (2) 様々な情報収集のための図書館資料を充実させ、生涯学習活動を支援した。

【今後の課題】

- (1) 利用者からの様々な声を聞き、より快適な利用環境を整える必要がある。
- (2) 毎年度各施設の蔵書や利用状況、規模に応じた資料を収集し、保存、除籍を行っているが、より適正な蔵書管理を行う必要がある。

会計名			貸出閲覧管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	中央図書館	
款	項	目					担当係	中央図書館	
10	5	4							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習・青少年育成						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	図書の貸出、返却及び閲覧事務の管理を行い、市民の教養、調査研究及び余暇等に対し資料を提供する。			主たる内容	○図書の貸出、返却及び閲覧事務の管理 ○書誌データや図書の装備・修理に必要な用品の購入 ○幼児園、保育園及び学校へ団体貸出する図書の運搬			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	図書館法 刈谷市図書館条例					
		対象者	市民等利用者			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・貸出人数 270,265人 ・貸出冊数 1,252,933冊		・貸出人数 281,490人 ・貸出冊数 1,301,727冊		・貸出人数 283,171人 ・貸出冊数 1,304,645冊 ・刈谷駅北地区地域交流施設での本の受取及び返却を開始		・貸出人数 290,000人 ・貸出冊数 1,310,000冊	
成果		図書の貸出、返却及び閲覧等の業務が適切に管理され、快適な読書環境の充実が図られている。							
課題		今後も利用者からの声を聞き、より快適な利用環境を整える必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度	
成果指標		貸出人数（人）			270,265	281,490	283,171	290,000	300,000
成果指標		貸出冊数（冊）			1,252,933	1,301,727	1,304,645	1,310,000	1,320,000
他市との比較検証		近隣市の令和5年度貸出数は、安城市2,025,820点、高浜市103,396点、知立市385,182点、碧南市514,624点。							
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳	
	事業費 ①		83,385	91,317	115,777	129,159	合計	115,776,723 円	
	財源	特定財源	109	86	247	251	報酬	73,577,420 円	
		一般財源	83,276	91,231	115,530	128,908	職員手当等	26,771,358 円	
	職員人件費 ②		24,470	24,937	28,669	29,156	旅費	1,165,660 円	
	総事業費（①+②）		107,855	116,254	144,446	158,315	需用費	2,260,295 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称			
6年度までの累積事業費		0		地域生活支援促進事業費補助金					
8年度以降の事業費見込		0							
						役務費	5,240,770 円		
						委託料	1,748,890 円		
						使用料及び賃借料	4,218,900 円		
						備品購入費	793,430 円		

会計名			貸出閲覧管理事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	中央図書館
款	項	目		担当係	中央図書館
10	5	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	会計年度任用職員の雇用や図書データ管理、小中学校への図書の貸出など図書館業務を行う上で不可欠である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	図書館業務の中でも重要度の高い内容の多い事業であるため、確実性を重視した結果効率的に行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	図書館の運営に直接的に関わる内容の事業が多いため、実際に運営する刈谷市が事業を行う必要性は極めて高い。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	図書館が今後も市民から大切な生涯学習施設として認識され活用してもらうため、今後も安全快適な施設を保つ必要があり、その上で本事業が果たす役割は大きい。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
本事業は図書館運営、利用者に直接関わるものが多いため、今後も継続的に行いながら利用者の要望に合わせた事業運営を行っていく。					

会計名			図書等購入事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	中央図書館		
款	項	目					担当係	中央図書館		
10	5	4								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習・青少年育成							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	図書館の所蔵資料を充実させ、利用者の読書意欲に応え、生涯学習に寄与する。 補正 寄附金により図書の充実を図る。			主たる内容	○一般書、児童書、視聴覚資料、外国図書、雑誌、新聞等の購入 ○図書購入用としていただいた寄附金により図書を購入 1 寄附者 刈谷ロータリークラブ 2 寄附日 令和6年5月13日 3 寄附金額 50,000円				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	図書館法 刈谷市図書館条例							
		対象者	市民等利用者			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画		
		・購入資料数 22,612冊 内訳 ・一般図書 11,210冊 ・児童図書 7,638冊 ・視聴覚資料 437点 ・外国図書他 201冊 ・寄附金購入図書 3,126冊		・購入資料数 19,103冊 内訳 ・一般図書 11,380冊 ・児童図書 7,257冊 ・視聴覚資料 384点 ・外国図書他 82冊 （電子図書 1,922点） （図書館ICT化事業）		・購入資料数 16,815冊 内訳 ・一般図書 9,063冊 ・児童図書 5,455冊 ・視聴覚資料 519点 ・外国図書他 59冊 ・電子図書 1,719冊		・購入資料数 16,360冊 内訳 ・一般図書 7,900冊 ・児童図書 5,690冊 ・視聴覚資料 1,260点 ・外国図書他 80冊 ・電子図書 1,430冊		
成果		様々な情報収集のための図書館資料を充実させ、生涯学習活動を支援した。また市民に開かれた身近な「知の源泉」として公共図書館にふさわしい資料の収集ができた。								
課題		毎年度各施設の蔵書や利用状況、規模に応じた資料を収集し、保存、除籍を行っているが、適正な蔵書管理を行う必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度		
活動指標		購入冊数（冊）			22,612	19,103	16,815	20,000	21,000	
成果指標		貸出冊数（冊）			1,252,933	1,301,727	1,304,645	1,310,000	1,320,000	
他市との比較検証		近隣市の令和5年度貸出数は、安城市2,025,820点、高浜市103,396点、知立市385,182点、碧南市514,624点。								
C 事業コスト		単位：千円		4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳		
	事業費 ①		46,590	42,040	45,333	45,514	合計	45,332,517 円		
	財源	特定財源	50	0	50	0	需用費	8,282,584 円		
		一般財源	46,540	42,040	45,283	45,514	備品購入費	37,049,933 円		
	職員人件費 ②		10,541	8,440	9,158	9,314				
	総事業費（①+②）		57,131	50,480	54,491	54,828				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
6年度までの累積事業費		0		図書館事業費寄附金						
8年度以降の事業費見込		0								

会計名			図書等購入事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	中央図書館
款	項	目		担当係	中央図書館
10	5	4			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	新しい図書の購入は図書館を継続的に運営する上で不可欠である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	図書館の仕様に合った図書の装備等を行える業者を選定し、図書を購入した。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	新規の図書購入は、図書館を継続的に運営する上で不可欠であり、その業務を実際に図書館を運営する刈谷市が行う必要性は極めて高い。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	図書館が今後も市民から大切な生涯学習施設として認識され、活用してもらうために今後も継続的に本事業を行う必要がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も継続的に利用者の要望に応えた図書の選定を行い購入していく。					

2-3 スポーツ

主な関連
ゴール



めざす姿



解説
動画

▶ [する・みる・ささえる](#)

- スポーツに親しむ環境や体制、施設が整っており、性別や年齢、障害の有無、国籍などにかかわらず、誰もが生涯にわたってそれぞれの体力や技術、興味、目的に応じて気軽にスポーツを楽しんでいます。

指標	現状値	目標値（めざす方向） 2032年
成人のスポーツ実施率（週1回以上）	48.1% (2022年)	75.0%
スポーツ施設の利用に満足している人の割合	34.3% (2022年)	45.0%

施策の背景

📍 現状

健康意識の高まりや、ライフスタイルの多様化に伴い、スポーツ活動を幅広くとらえ、そのかわり方も多様化しています。

各競技や地域の多種多様な団体が、競技スポーツ、レクリエーション、地域での多世代スポーツ活動など、それぞれの目的と特性をいかした活動をしています。

各種体育施設や生涯学習施設など多くのスポーツ施設が利用されている一方で、成人のスポーツ実施率が伸び悩んでいます。

市民のスポーツ活動の活性化と継続化を図る指導者やリーダー、スポーツボランティアに対するニーズが多様化しています。

ホームタウンパートナーチームが13チームあり、トップリーグの試合などが多く開催されています。

✍️ 課題

→ 市民のライフステージやライフサイクル、ニーズに応じて「する・みる・ささえる」スポーツ活動に参加できる環境をつくる必要があります。

→ 各団体の更なる活動強化や組織力向上などについて、育成や活動の充実が求められています。

→ 誰もがより快適に気軽にスポーツに取り組める環境を整えることが求められています。

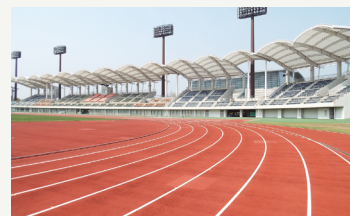
→ スポーツ活動に気軽に参加し継続できるよう、「ささえる人材」の育成が望まれます。

→ トップアスリートとふれあう機会の創出や環境整備、スポーツを通じた市の魅力向上や発信などが望まれます。

成人のスポーツ実施率（週1回以上）の推移



資料：市民意識調査



施策の内容

231 スポーツ活動 プログラムの充実

- ①市民の目的やニーズに応じたプログラムの提供を通して、市民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大を図るなど、「する」スポーツの推進に努めます。
- ②「みる」、「ささえる」スポーツの推進により、気軽に参加するきっかけづくりに努めます。
- ③地域での定期的・継続的なスポーツ活動を推進することにより、スポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。
- ④全国レベルで活躍する選手や指導者と連携し、また支援することで、競技意欲を高め競争力の向上を図ります。
- ⑤学校生活などでのスポーツ活動の充実を通して、子どもたちが体を動かす機会の充実に努めます。

232 クラブ・ 団体の育成

- ①総合型地域スポーツクラブの活動充実や運営体制の強化を支援します。
- ②各種団体の自主的・自立的な活動の充実や組織力の強化を支援し、継続的なスポーツ活動の推進を図ります。

233 施設の整備・ 充実・開放

- ①施設の種類、内容、配置、運営方法、市民ニーズなどを踏まえ、活動しやすい施設の整備・修繕を計画的に進めます。
- ②身近なスポーツ施設を充実させ、活動拠点の充実に努めます。
- ③既存施設の効率的な活用や利用料金の適正化に取り組むとともに、施設管理者との連携により、より円滑な管理・運営に努めます。

234 ささえる 人材の育成

- ①指導者やリーダーを育成する研修の実施や活動機会を提供することにより、指導やマネジメントができる多様な人材育成に努めます。
- ②スポーツ推進委員の研修や活動の充実に努め、身近なリーダーを育成します。
- ③競技スポーツや学校体育など様々な立場の指導者ネットワークを構築し、互いに連携することができる環境づくりに努めます。
- ④「ささえる」スポーツの啓発や仕組みづくりの検討を行い、スポーツボランティアの育成と確保に努めます。

235 スポーツを通じた まちづくり

- ①ホームタウンパートナー制度の一層の充実に努めます。
- ②スポーツと観光の融合によるスポーツツーリズムを推進し、交流人口の拡大とまちの活性化を図ります。
- ③アジア競技大会など国際スポーツ大会の誘致などにより、市の魅力発信や地域の活性化に努めます。

連携・協働の考え方

●豊かなスポーツライフの実現に向け、行政だけでなく、市民や事業者、スポーツ・レクリエーション団体、学校など各主体がそれぞれの役割を把握しながらスポーツに積極的にかかわり、多くの市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに努めます。

関連する個別計画

●第3次刈谷市スポーツマスタープラン
(2019年度～2028年度)

総合型地域スポーツクラブ育成事業

【目的】

本市の総合型地域スポーツクラブは、子供から高齢者までの誰もが、体力や技術、目的に応じて様々なスポーツに気軽に参加できる、地域住民による自主運営型のスポーツクラブで、市内の中学校区ごとに6つのクラブが活動している。

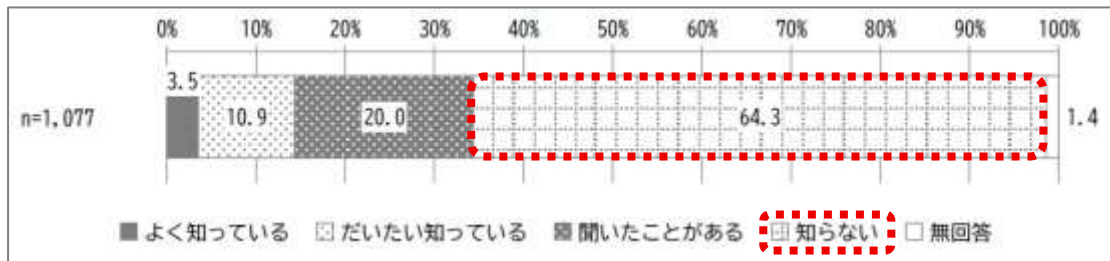
総合型地域スポーツクラブ育成事業では、持続可能なクラブ運営、各クラブが抱える課題の解決やスタッフの資質向上を目的に、各クラブの代表者や有識者で構成される「総合型地域スポーツクラブ研究会」を年6回開催するほか、講習会、クラブ間の交流促進を図るためバドミントン交流会などを行っている。

なお、スポーツ課は、研究会の事務局を担っている。

【現状分析】

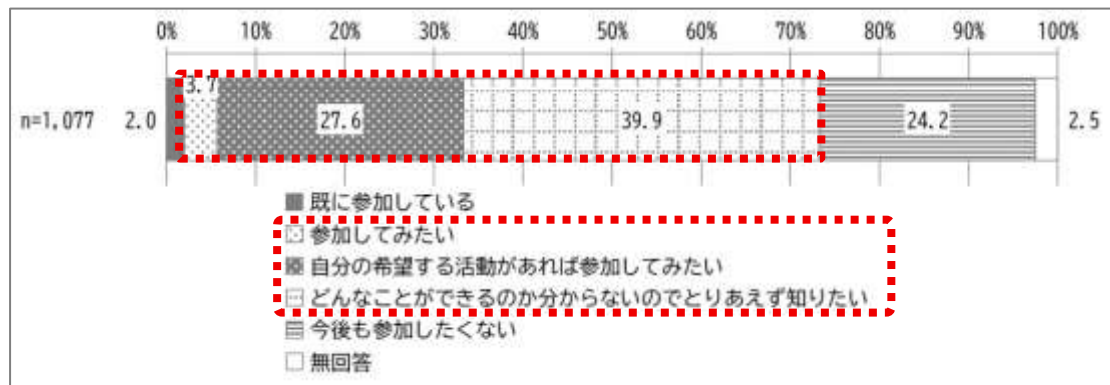
＜刈谷市スポーツマスタープラン中間アンケート結果（令和5年度）＞

▼図1 総合型クラブの認知度



クラブを「知らない」 64.3%

▼図2 総合型クラブへの関心



参加意向や潜在的なニーズ 71.2%

多くの方が総合型クラブに興味や関心を持っていることが分かった。

＜刈谷市スポーツマスタープラン中間アンケート結果（令和５年度）団体調査抜粋＞

クラブ名	朝日	依佐美	刈谷東	富士松	雁が音	刈谷南
会員数 (1年前比)	変化なし	増加	減少	増加	増加	増加
会員数 (5年前比)	減少	減少	減少	減少	増加	減少
クラブ の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・財源の確保 ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 ・活動拠点施設の確保・維持 ・活動種目の拡大 ・事務局員の確保 ・行政との調整 ・既存団体との関係 ・会費の設定・徴収 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・指導者の確保 ・事務局員の確保 ・学校部活動との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・会員の世代拡大 ・事務局員の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・財源の確保 ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 ・活動拠点施設の確保・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・指導者の確保 ・活動種目の拡大 ・クラブ経営に関する情報収集

「会員数の減少」や「会員の確保」について課題を抱えている。

【令和６年度の取組】

研究会における取組

研究会では重点研究テーマを「クラブの認知度向上」とし、各クラブの広報活動の現状調査および、効果的な広報活動について検討を行った。

＜市民だよりの作成において重視した点（次ページ「市民だよりの」参照）。

① クラブ会員の声

体力づくり

健康増進

仲間づくりの場

② 各クラブのサークル・教室一覧
活動場所

どのようなスポーツ活動
をしているか

身近な場所で運動できる

総合型地域スポーツクラブの魅力

- ☑ 総合型クラブの認知度
- ☑ 総合型クラブへの関心

あなたの身近にある 総合型地域スポーツクラブに 参加しませんか？

身近な場所で手軽にスポーツを楽しめる、総合型地域スポーツクラブを知っていますか。年齢や経験に関係なく、楽しむことはもちろん、体力づくりや健康増進、仲間づくりの場として誰でも参加できます。今回は、参加者からのクラブの良さや推しポイントを紹介します。

☎ スポーツ課 (☎63-6040)
☎ 1006536

始めてからはクラブ以外でも運動するようになり、動くことが苦にならなくなりました。他にも3B体操に参加しています。



朝日 ソフトエアロビ 西川さん

最近3人で一緒に入りました！先生に教えてもらって、ちょっとずつできるようになってきました。バスケの時間が楽しみです！



刈谷東 バスケ

各クラブのサークル・教室一覧	朝日	依佐美	刈谷東	富士松	雁が音	刈谷南
バレー・ソフトバレー		○	○	○	○	●
バスケ・ミニバスケ		☆	☆	○	○	○
卓球	○	○	●	○	☆	○
バドミントン	○	○	○	○	○	○
キッズ体操・子ども体操教室		○	○	○	○	○
ミニテニス・ジュニアテニス	○	○	●	○	○	●
アラス・モグボールダンス	○		●	○	☆	
社交ダンス・フォークダンス	☆		☆	☆	☆	☆
チアリーディング・エアロビ	☆	☆	☆	☆	☆	☆
エアロビクス・3B体操・ダンス・縄跳び	☆	☆	☆	☆	☆	☆
ヨガ・ヨガ・ストレッチ・縄跳び	☆	☆	☆	☆	☆	○
ウォーキング・ウォーキング・ランニング	☆	○	○	☆		
太極拳						
空手						
書道・スケッチ					○	○
絵画・粘土・クラフト				☆		
アロマセラピー				☆		○
趣味・母会					●	
ユニホッケー						○
ハイキング・サイクリング	●			●		☆

主な開催場所・問合せ先

- 朝日 代表：山口 (☎090-7862-2049)
- 朝日中、栗刈谷小、野田市民館
- 依佐美 代表：山口 (☎090-6074-5178)
- 依佐美中、双葉小、小江江市民館
- 刈谷東 代表：深谷 (☎090-6080-0481)
- 刈谷中、日高小、小山市民館
- 富士松 代表：加藤 (☎080-6919-4864)
- 富士松中、富士松南小、富士松北小
- 雁が音 代表：加藤 (☎090-6614-5805)
- 雁が音中、平成小、新合運動公園
- 刈谷南 代表：鈴木 (☎090-3555-0869)
- 刈谷南中、亀城小、衣浦小

※費用はクラブごとに異なります。

見学だけでなく大歓迎！
スタッフ・指導者も募集中！
気になる講座がありますら、
気軽に問い合わせください。

走るときはみんなライバルだけど、普段は学年関係なく仲が良いです！学校の友達もたくさんできました！

雁が音 ランニング

鈴木さん
戸知谷さん

お兄ちゃんが入っていたので始めました！もう2年くらいやっていますが、お母さんと一緒に卓球ができて楽しいです！

刈谷南卓球 早川さん親子

10月に入っただけですが、友達が増えて楽しいです！イベント出演を目指して頑張ります！

朝日 テニス 百合嶋さん

富士松フラダンス 山田さん

【成果】

<総合型地域スポーツクラブ会員数比較>

	朝日	依佐美	刈谷東	富士松	雁が音	刈谷南	計	刈谷市 総人口比
4年度最終	421人	100人	249人	213人	501人	155人	1,639人	1.07%
5年度最終	410人	100人	236人	206人	526人	185人	1,663人	1.08%
6年度最終	402人	131人	252人	211人	614人	233人	1,843人	1.21%

- ・令和6年度末の会員数が、前年度から増加した。市民だよりへの掲載により各クラブには、問い合わせが増え、入会のきっかけになった方がいるなど、一定の効果が見受けられた。
- ・研究会の開催でクラブ間の情報共有や意見交換、講習会やバドミントン交流会等の開催により、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図れた。

【今後の課題】

<刈谷市スポーツマスタープラン中間アンケート結果（令和5年度）団体調査抜粋>

クラブ名	朝日	依佐美	刈谷東	富士松	雁が音	刈谷南
指導者数	22	8	14	17	21	7
有資格者	13	6	2	17	1	5
クラブマネージャー	配置していない	配置していない	配置していない	配置していない	配置していない	配置していない
クラブの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・財源の確保 ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 ・活動拠点施設の確保・維持 ・活動種目の拡大 ・事務局員の確保 ・行政との調整 ・既存団体との関係 ・会費の設定・徴収 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・指導者の確保 ・事務局員の確保 ・学校部活動との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・会員の世代拡大 ・事務局員の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・財源の確保 ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の確保 ・会員の世代拡大 ・活動拠点施設の確保・維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の確保 ・指導者の確保 ・活動種目の拡大 ・クラブ経営に関する情報収集



持続可能な運営を
実現するため

**各クラブの自立及び経営の安定化に向けた
継続的な支援**

会計名 一般会計			総合型地域スポーツクラブ育成事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	スポーツ課	
10	6	2					担当係	普及係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	スポーツ						
		施策の内容	クラブ・団体の育成						
	目的	地域のスポーツ振興のみならず、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、青少年育成、高齢者や障害のある人の社会参画の場としての効果を期待する総合型地域スポーツクラブの育成を図る。				主たる内容	○各クラブの自立に向けた調査研究（刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会の開催）		
	位置づけ	関連計画：スポーツ基本計画（国）、第3次刈谷市スポーツマスタープラン 根拠法令：スポーツ基本法							
	対象者	市民			事業期間	平成16年度～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	4年度実績		5年度実績		6年度実績		7年度計画	
		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回		・刈谷市総合型地域スポーツクラブ研究会 研究会開催回数 6回 バドミントン交流会の開催 1回 卓球交流会の開催 1回 講習会の開催 1回	
		成果	研究会の開催によるクラブ間の定期的な情報共有や意見交換、研究会での協議を基にした講習会やバドミントン交流会等の開催などにより、各クラブの活動の充実やクラブスタッフの資質の向上等を図ることができた。						
課題		会員の確保、活動拠点の確保、安定的な財源の確保、運営スタッフの充実、組織力の強化等、各クラブの自立及び経営の安定化に向けた新たな支援の検討							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
成果指標	総合型地域スポーツクラブ加入者数（人）				4年度	5年度	6年度	7年度	9年度
指標					1,639	1,663	1,843	1,900	2,100
他市との比較検証	近隣市町のクラブ設立状況 岡崎市3クラブ、豊田市13クラブ、碧南市1クラブ、安城市2クラブ、西尾市4クラブ、みよし市3クラブ、知立市1クラブ、高浜市2クラブ、幸田町2クラブ								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	4年度（決算）	5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（予算）	6年度事業費内訳			
	事業費 ①	250	250	250	190	合計	250,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	250,000 円	
		一般財源	250	250	250	190			
	職員人件費 ②	2,635	2,686	2,787	2,835				
	総事業費（①+②）	2,885	2,936	3,037	3,025				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		6年度特定財源名称				
	6年度までの累積事業費		0						
	8年度以降の事業費見込		0						

会計名			総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	スポーツ課
款	項	目		担当係	普及係
10	6	2			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	総合型地域スポーツクラブには、実施種目や世代の多様性などの特性から、スポーツ振興のみならず、地域コミュニティの形成や青少年の健全育成、高齢者等の社会参画の場の提供などの役割が期待できるため、クラブの育成を支援していく必要性は高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	自主財源により継続的に運営できるよう執行体制、運営方法や活動内容を整理し、会員を確保できるよう一層の啓発活動と活動内容の充実を図るためには、クラブの育成を支援していくことが有効である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	地域住民が主体的な運営ができるようにするためには、市がクラブの育成支援に取り組むことが必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	第3次刈谷市スポーツマスタープランの施策として推進を図っており、活動の充実やスタッフの資質の向上等、市内各クラブの育成に貢献している。また、中学校区ごとに設立された各クラブは、住民が気軽にスポーツ活動等に参加できる場としての役割を果たすことができている。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
運営補助金の交付については、削減計画に基づき削減を進めてきた結果として平成29年度末をもって終了となったが、クラブ運営の基本である自主・自立に向け、引き続き定期的な研究会の開催により、各クラブ間の情報共有や意見交換、アドバイザーからの助言聴取等を図るとともに、各クラブの運営の安定化に向けた財源確保策等の検討を進めていく。					

IV 点検・評価の結果

事業名	貸出閲覧管理事業	担当課	生涯学習課
外部評価委員の意見			
<p>文部科学省の資料によると、「家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子供」が、小学校 35 人学級に換算すると 12.5 人（35.6%）、中学校 40 人学級に換算すると 15.7 人（39.2%）とある。したがって、学校教育において、電子書籍を含む図書館を活用した貸出は生涯にわたって自ら学び続ける子供を育てるには重要である。高齢者向けの電子書籍の使い方講座、古典書籍のデータベース化、聴覚障害者向けのサービスなど、今日的対応が十分なされており、「必要性」、「妥当性」、「施策への貢献度」の高い評価は適切である。今後は、更なる入館者増の取組を期待している。</p>			
教育委員会の考え方			
<p>図書館での本の貸出は、子どもたちの学習環境の提供のみならず、生涯学習の視点からも重要であると考えています。また、家庭での読書環境づくりを補完及び支援する存在としても、電子書籍を始めとした図書館の必要性はより大きいものと認識しています。</p> <p>今後も、年齢や利用目的に応じた資料・サービスの充実に加え、学校や地域と連携した取組、電子図書館の活用促進、来館しやすい環境づくりを進めることで、利用者の増加に努めてまいります。</p>			
事業名	図書等購入事業	担当課	生涯学習課
外部評価委員の意見			
<p>図書購入等事業費も削減することなく確保できている。文化的生涯学習施設の中核としての図書館は、市民ニーズが多様化する中、それを把握し適切な図書の購入を進める必要があり、それは実行できていると感じる。したがって、「必要性」、「妥当性」、「施策への貢献度」の高い評価は適切である。今後は、よりニーズ増が予測される視聴覚資料の更なる購入を進め、利用者増に貢献することを期待したい。</p>			
教育委員会の考え方			
<p>今後も市民ニーズに注視しながら、紙の書籍・電子書籍・視聴覚資料の購入及び整備を進めることで、市民サービスの向上に努めてまいります。</p> <p>視聴覚資料は、歴史資料、児童向け学習、視覚・聴覚に配慮した資料など、幅広い層に需要があり、とても重要であると認識しております。</p> <p>今後も、幅広い資料の提供を行い、利用者増に向けた取組を行ってまいります。</p>			

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当課	スポーツ課
外部評価委員の意見			
<p>市の規模等から判断しても西三河地方において、本市は「総合型地域スポーツクラブ」数が圧倒的に多く充実している。これは、これまでの様々な支援の成果であると思う。生涯を通してスポーツに親しみ、地域のつながりを強くする意味で重要な施策である。また、中学校の部活動が縮小される中、ますます本事業の重要性は高まるであろう。以上のことから「必要性」、「妥当性」、「施策への貢献度」の高い評価は適切である。今後は、クラブのことを知らない市民が6割を超えており、会員の確保のためにも様々な機会を通しての広報活動を期待している。</p>			
教育委員会の考え方			
<p>今後も引き続き、子どもから大人まで幅広い世代が地域の身近なところでスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの活動支援に努めてまいります。また、クラブの認知度向上に向けて、クラブの情報や魅力を広く市民に発信することに加え、小中学生がスポーツをする機会の創出に繋がるよう、子ども向けの教室の紹介などの情報発信を行ってまいります。</p>			

V 参考資料

1 教育大綱 令和3年度～令和7年度

育てたい子ども像

子どもたちには、これからの変化の激しい時代を、周囲と手を携え、前向きに切り開いていく能力、すなわち「生きる力」が必要となります。このため、本市の育てたい子ども像を次のとおり定めます

共に生き、未来を創造する子ども

「共に生き、未来を創造する子ども」に必要な「生きる力」を育むためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」すなわち「知」「徳」「体」の3つをバランスよく伸ばさせ続けていくことが大切になります。「元気・笑顔・希望のまち刈谷」という「礎」のなかで、「知」「徳」「体」それぞれの資質・能力を伸ばさせることにより、育てたい子ども像の実現を図ります。

【子ども像イメージ図】



知 確かな学力

学習の中で、基本的な知識・技能を身に付け、疑問や課題にぶつかったときに、主体的に行動しながら、科学的に道筋をたててその課題を解決しようとする力。

徳 豊かな心

自分を肯定的に受け止めるとともに、他者への思いやりの心を育みながら自らの感性を成長させ、自身の感情を豊かに表現していける心。

体 健やかな身体

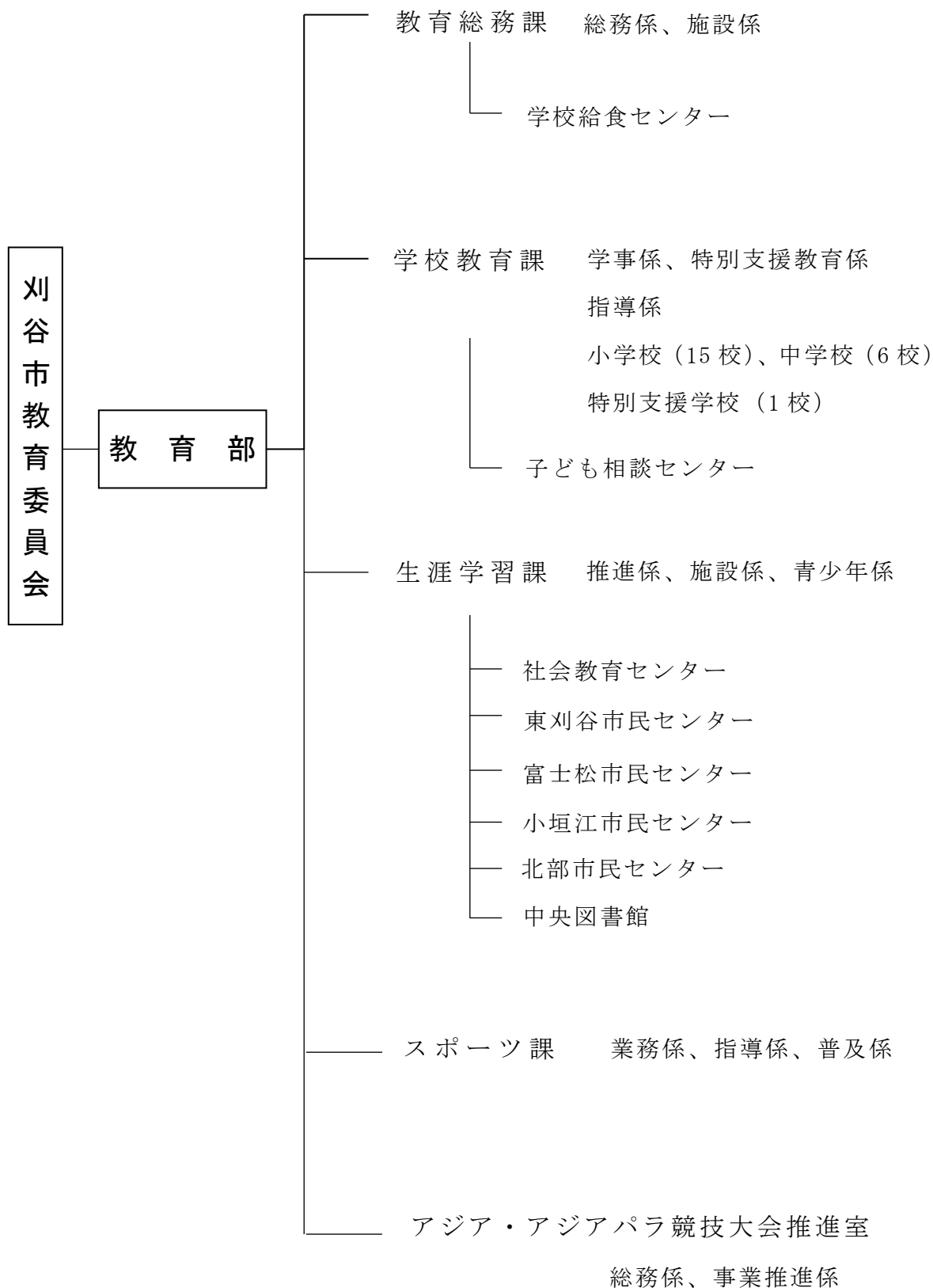
体を動かす楽しさや運動への魅力を通じて体力向上を図るとともに、食や生活習慣へ関心を持つことにより、心身の健康を維持することができる身体。

礎 元気・笑顔・希望のまち

充実した教育環境のもと、愛情、優しさ、思いやりにあふれた人が住み、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守ることのできるまち。

2 組織

(令和7年4月1日現在)



令和7年度（令和6年度事業対象）

刈谷市教育委員会点検・評価報告書

刈谷市教育委員会 教育総務課

〒448-8501 刈谷市東陽町1丁目1番地

電話（0566）62-1034（ダイヤル）／ FAX（0566）25-1006